

白老町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

No. 3

担当部署	経済振興課		商工業G						
事業名	空き店舗活用・創業支援事業						加速化交付金		
平成28年度事業費	18,000,000				円	関連施策等			
事業概要・実績（内容）	象徴空間開設に向けて、町内の空き店舗等の活用、創業（出店）に対し助成金を交付する。 ①空き店舗等の家主の移転・改修助成 3件、6,000千円 ②創業（出店）助成 4件、12,000千円						101010103		
							205010101		
							303010201		
							303030101		
事業効果・成果	新規出店が4件（飲食業3件、宿泊業1件）あり、雇用面でも、パート・アルバイトを含め10名の新規雇用につながっている。空き店舗の利活用、商店街等の活性化、また、象徴空間開設に向けた観光客等の受け皿づくりの観点からも成果があった。								
事業の課題等	相談者の希望に合う空き物件が少ない 主な要因としては、①家主の意向として「賃貸でなく売却したい」というケースが多い、②古い物件が多く、多額の改修経費がかかるなど								
翌年度以降の事業の方向性	地域活性化のため重要な取り組みであり、創業相談件数も増加傾向にあることから、翌年度以降も継続する必要がある。								
重要業績評価指標（KPI）		単位	目標値	当該年度達成率	2015（平27）	2016（平28）	2017（平29）	2018（平30）	2019（平31）
1	新規起業件数	件	10	50%	1	4			
2	空き店舗の活用件数	件	10	50%	1	4			
3	アイヌ文化等の地場資源を活用した空き店舗による創業者の件数および商業観光の拡大に取り組む件数（活性化）	件	8	137%	13	11			
4									
5									
加速化	地域資源を活用した空き店舗による創業者の件数および商業観光の拡大に取り組む件数(活)	件	20	120%		24			
事業の評価	①重要業績評価指標（KPI）への有効性						12	A	
	A. 直接効果あり B. 間接効果あり C. 効果なし								
	②町が実施する必要性								
	A. 必要 B. どちらともいえない C. 不要								
③事業実施の有効性、成果						A	A		
A. 効果あり B. どちらともいえない C. 効果無									
④事業の効率性						A			
A. 適切 B. 改善の余地あり C. 非効率									
有識者意見									評価
・新規起業、雇用拡大、地域活性化等の成果は十分に認められた。支援体制の強化や取組方法の見直し等を行い、事業の継続を望む。 ・町内既存建物（空き店舗）の事前調査不足が課題。また、助成件数、金額とも見直しが必要である。									A